

参考様式1

## 農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)事業実施計画

計画主体名	計画期間
<small>ハカワ</small> 糸魚川市	令和3年度～令和5年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
農林水産課	025(552)1511	025(552)7372	<a href="mailto:ringyou@city.ioigawa.lg.jp">ringyou@city.ioigawa.lg.jp</a>

【記入要領】

- 計画主体名
- ・市町村名にはふりがなをふること。
  - ・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載すること。
- 計画期間
- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。
- 連絡先
- ・共同計画の場合は行を追加し、すべての計画主体の連絡先を記入すること。
- メールアドレス
- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

## I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
山村活性化の促進	市域の約87%の森林資源を活用し、持続可能な循環型社会(SDGs、カーボンニュートラル等)への転換を促進するため、身近に森林体験できる森林公園を整備することにより、地域活性化・都市交流を推進し、市民をはじめ都市住民の森林資源への関心・意識の醸成を図る。

## II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
滞在者数及び宿泊者数の増加	560人の増	560人＝目標値4,860人－過去実績4,300人 過去実績:3か年平均 4,570人[H29]、4,060人[H30]、4,280人[R元] 目標値:3か年平均 4,720人[R06]、4,860人[R07]、5,000人[R08]
第1評価指標の設定根拠	計画区域内の都市農山漁村交流施設等における滞在者数及び宿泊者数の増加数(人) ＝(滞在者数及び宿泊者数(人)【目標値】－既存施設等の滞在者数及び宿泊者数(人)【現状値】)	
第2評価指標(任意)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
第2評価指標の設定根拠		
第3評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
保育園・幼稚園・小学校等の自然体験イベント等の実施	8回の増	8回＝10回(目標値)－2回(現状値) (3か年の平均開催数 10回(目標値))
第3評価指標の設定根拠	令和元年度、幼稚園1園、小学校1校の自然体験等のイベントを受け入れており、施設周辺の保育園、幼稚園、小学校にも森林公園を活用した自然体験、森林体験を促進する。 自然体験イベントの増加目標(回)＝(自然体験イベントの受入数(回)【目標値】－自然体験イベントの受入数(回)【現状値】)	
評価期間(原則として3年間の効果発現状況を把握する期間)	評価報告予定年(評価期間の終了直後の9月末日まで)	
令和6年4月～令和9年3月	令和9年	

### 【記入要領】

全般

・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

事業活用活性化計画目標

・事業活用活性化計画目標の項目は実施要領の別紙に掲げる項目から選択するものとする。

評価指標

・評価指標の記載に当たっては実施要領及び「事業活用活性化計画目標の評価指標の設定について」により記入すること。

### Ⅲ 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び 事業活用活性化計画目標との関連性	備考
自然環境保全・活 用交流施設	大和川地区	大和川森林公園 の施設整備	・実施設計 1式(林 間広場測量、管理 棟・トイレ棟・看板設 計監督) ・眺望整備 樹木伐 採 A=2.3ha ・林間広場整備 A=0.3ha(木立整備 A=0.1ha、整地 A=600m <sup>3</sup> 、芝生植生 A=0.3ha、外灯整備 1基、看板整備 3基、 柵設置 L=650m) ・公園整備 1式(遊 歩道整備 L=350m、 間伐整備 A=1.5ha、 木立整備 A=0.3ha) ・管理棟改修 1棟 A=115.68m <sup>2</sup> ・トイレ棟改修 1棟 A=19.33m <sup>2</sup> ・外構整備 A=83m <sup>2</sup>	R03～R05	大和川生産森林 組合	37,900	16,550	1/2	16,550	海水浴場や主要幹線からのアクセス、海望で きる立地を活かし、市外誘客や市民への森林 体験の場を提供し、交流人口の回復を図ると ともに、コロナ禍を機に地域資源の魅力を再発 見・再認識し、地域愛の醸成を目標とする。	
		農山漁村活性化 整備付帯事業	パンフレット作製	R05	大和川生産森林 組合	400	150	1/2	150		
合 計						38,300	16,700	1/2	16,700		

#### 【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
  - ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性を併せて記載すること。
  - ・事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記入すること。
  - ・地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
  - ・事業内容欄は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
  - ・事業規模等欄は、施設ごとの棟数と床面積、林道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
  - ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性欄は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。
  - ・「農泊推進対策」で実施する場合には、備考の欄にどのように「農泊」と関連するかを明記すること。
- (※)「農泊」とは、農山漁村において、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ滞在(農山漁村滞在型旅行)をいう。

## IV 他の施策との連携に関する事項

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等
5 定住自立圏共生ビジョンに基づく施策	自然環境保全・活用交流施設	大和川地区	地域自然や歴史文化などを教材として、ふるさとに関わる体験活動や学習成果により、地元愛・誇りの形成及び心豊かでたくましく生きる子どもの育成を図るため、その体験の場となるフィールドを整備する。

### 【記入要領】

- ① 交付対象となる事業のうち、実施要領第6に掲げる施策と連携して実施する事業にあつては、連携施策名、連携施策の内容及び交付対象事業との関連性を記載すること。
- ② 連携する施策名には、実施要領第6に掲げる施策を記載すること。
- ③ 事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記載すること。
- ④ 地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
- ⑤ 必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

### V 農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)年度別事業実施計画

事業別内容	計画の提出年度	新規・変更の区別 新規「1」 変更「2」	都道府県		計画主体		市町村名	地区名	地域指定状況									計画期間 最終年度						
			名称	コード (地方公共 団体コード 番号(総務 省))	名称	コード (地方公共 団体コード 番号(総務 省))			山村 振興	過疎 地域	特定 農山村	半島 振興	離島 振興	豪雪 地帯	急傾 斜地	奄美 群島	指定 棚田 地域							
																			名称	コード (地方公共 団体コード 番号(総務 省))				
	R3		新潟県	150002	糸魚川市	152161	糸魚川市	大和川地区		1		1												
①事業費計																								
②市町村等附帯事務費																								
③県附帯事務費																								
総合計(①+②+③)		1																						5
<b>共同で計画作成を行う場合の内訳</b>																								
〇〇町	事業費(ハード)																							
	市町村等附帯事務費																							
××県	事業費(ハード)																							
	都道府県附帯事務費																							
		市町村等附帯事務費																						





